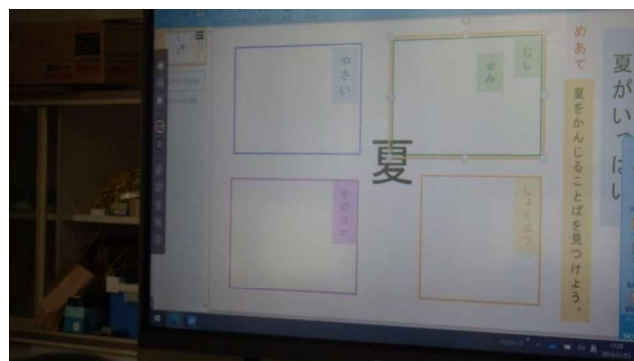
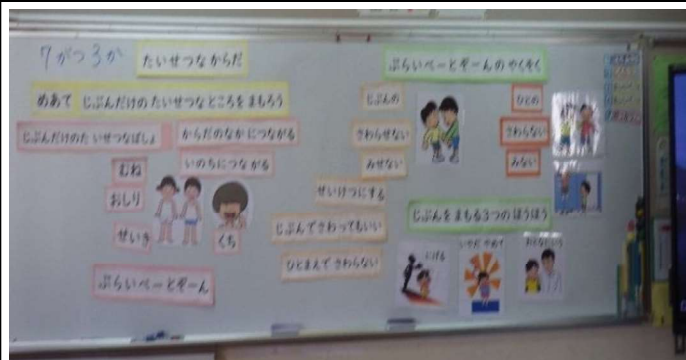


令和6年7月3日（水）校内研究 授業と協議

1年生 学活（養護教諭による指導）

2年生 国語（1年担任による指導）



【授業の様子】

1年生は、養護教諭によるプライベートゾーンについての授業を行いました。自分の体を自分で守ったり、助けを求めたりすることの大切さなどについて考えました。今年度より教科担任制に取り組んでいる本校では、低学年の学団内で指導者を交換し、担任以外の教員が授業を行うことがあります。普段と違う教員が授業を行うことにより、子どもたちの興味関心が高まり、主体的に活動する様子が見られました。

2年生は、1年担任による国語「夏がいっぱい」の授業を行いました。低学年でもできるタブレットの活用を目指し、「発表ノート」という機能を使った話し合い活動をしました。タブレットを活用して夏の言葉を集めることで、グループ内で簡単に共有でき、話し合いの活発化につながっていました。まだタイピングがスムーズにできない児童も多いため、手書き入力の機能が子どもたちの活動を助けていました。今後も、低学年でできるタブレット端末の活用を模索していきたいと思います。

【協議会の様子】

今年度より低・中・高学年（若草学級の担任含む）に分かれて学団を作り、それぞれの学団に適した研究授業や協議会の方式を提案するようにしました。低学団からは、以下の提案がありました。

学団提案

○専門を生かしたプライベートゾーンの授業、タブレットの活用の仕方や授業への取り入れ方

○昨年度2年生の担任だった経験を生かしてのタブレット活用

○ムーブノート（タブレット端末）を使った協議会 ○個別の意見カードを大きく投影して意見交換

上記の提案をもとに、協議前にはムーブノートのやり方を共有し、協議会を進めました。今回の協議会では、①ペーパーレス化②個別の意見の共有③2グループに分けた話し合い（各学年のグループ）を行ったことによる協議の深まりが成果としてあげられます。別の機会でも取り組みたい協議方法でした。